

9月17日 企業立地協定 株山清工業九州立地協定を締結

半導体製造装置と自動車部品を製造する株山清工業九州（親会社山清工業株（名古屋市））が、林原・蘇崎工業団地内に新たに用地を取得し、工場を増設することが決まり、協定調印式が市役所でありました。新工場は平成28年1月に着工予定総投資額は約3.6億円を予定しており、新たに15人を新規採用する予定です。

なお、林原・蘇崎工業団地は今回の企業進出で完売しました。



左から江頭市長、木下代表取締役社長、渡辺熊本県新産業局長

9月16日 企業進出協定 応用電機株と立地協定を締結

電子計測機器メーカーの応用電機株式会社（京都）が、富の原工業団地内の同社熊本事業部で工場を増設することが決まり、協定調印式が熊本県庁でありました。新工場は11月に着工予定で、総投資額は約7億円を予定しており、新たに20人を新規採用する予定です。

江頭市長は「この協定は地域経済活性化の弾みになる。市も全力でサポートしたい」と話しました。



左から江頭市長、茶屋社長、高口熊本県商工観光労働部長

8月22日 上赤星老人クラブ寿会 みんなで歩いて健康づくり

上赤星老人クラブ寿会（星野徳光会長・会員54人）の健康ウォーキングがあり、会員14人が田園地帯を歩きました。このウォーキングは、健康維持と健康寿命を延ばすことを目的に、毎週土曜日に開催しています。毎回入念に準備運動を行い、今回は1.6キロを散策。会員は「すがすがしい朝の空気を吸って、みんなで歩くのが気持ちいい。これからも仲良く楽しく続けます」と話しました。



みんなでペースを合わせて歩きました

8月20日 子ども議会 議会でまちづくりを学びました

市議会議場などを会場に平成27年度菊池市子ども議会（議長・城拓磨さん・菊池北中3年）がありました。市内5中学校の代表21人が子ども議員の委嘱を受け、学校生活や日常生活で感じていることを市執行部に質問。本会議では、子ども議員書記による委員会報告と子ども議員委員長による代表質問が行われました。この経験が学校生活と地域への貢献の励みになることを期待します。



本会議で代表質問する子ども議員

9月19日 四季の里旭志 かけっこ教室で走り方を習ったよ

四季の里旭志芝生広場でかけっこ教室が開催され、幼児・小学生を対象に70人が参加しました。講師はKURS（熊本大学陸上競技スクール）代表の平野龍さん。天候にも恵まれ、子どもたちは講師の話を一瞬懸命聞きながら芝生広場を駆け回っていました。

参加した子どもの保護者は「子どもたちが楽しく走り方を教えてもらって良かった。無料で参加できるのいい」と話しました。



広場を駆け回る子どもたち

9月18日 秋の交通安全大会 秋の全国交通安全運動

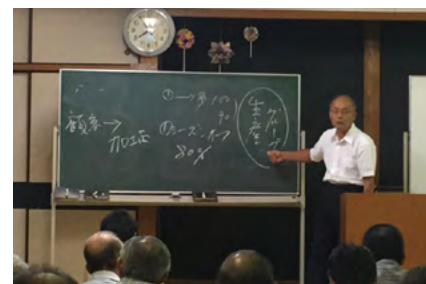
9月21日から30日までの「秋の全国交通安全運動」に伴い、平成27年秋の全国交通安全運動推進大会が菊池文化会館で行われました。式では、木村副市長が「これから秋になり、行楽シーズンを迎えます。交通事故にはくれぐれも注意してください」とあいさつ。飲酒運転撲滅音頭や交通安全五則宣言のあと、菊池高校吹奏楽部の伴奏により市内のパトロールに出発しました。



パトロールに出発する警察署員

9月11日 迫間地区で地域人材育成研修会 地域づくり人材育成研修会

「故郷創生塾」塾長の豊重哲郎氏を講師に招き、迫間地区で菊池市地域づくり人材育成研修会が行われました。豊重氏は「商品開発には健康志向などのブランド化や開発に至るまでのストーリーづくりが購買意欲を持ってもらうために必要」などと講話。参加者からは「今までの私たちの考えが変わっていく気がした」「次のステップに進める気がする」といった前向きな声がありました。



地域振興について話す豊重さん

9月8日 菊池市農村女性グループ 鳥よけじゃない！人が集まるカカシ

菊池市農村女性グループの会員が手作りした個性豊かなカカシがきくち観光物産館に展示されました。「米どころ菊池をPRしたい」という思いを込めて同グループが製作。きくち観光物産館のほか、旭志伊坂の田んぼなどに展示しました。材料は使わなくなったTシャツと園芸用の棒を使用。誰にでも作ってもらえるよう、物産館に製作キットも販売しています。



手作りカカシを手に笑顔を見せる菊池市農村女性グループの皆さん

9月26日 きくち交通安全小学生席書大会 交通安全守ります

きくち交通安全小学生席書大会が西部市民センターで開催されました。市内の主な受賞者は以下のとおりです。

- 菊池市教育長賞 荒木真穂さん（泗水東小6年）
- 菊池警察署長賞 武藤美南さん（泗水小5年）
- 中学年の部金賞 荒木穂乃実さん（泗水東小4年）
- 高学年の部金賞 宮本夏妃さん（泗水西小5年）



真剣な表情で筆をとる子どもたち

9月21日 菊池チャレンジマラソン 自然の中で38*を駆け抜けました

菊池チャレンジマラソンが水源交流館をスタート・ゴールに開催されました。県の里もんプロジェクトの支援を受け、市民団体「まりちゃん・ず」が主催。全国から115人のランナーが参加し、竜門ダムや千畳河原など菊池の観光スポットや自然を巡りました。途中の休憩所では市内の生産者が作った果物や惣菜でランナーをもてなしました。



田園の中を駆け抜けるランナーたち

9月13日 水次区自主防災会避難訓練 災害に備えて「水次区防災訓練」

水次区自主防災会主催による防災訓練が行われ、区民や関係者など約150人が参加しました。同会は6月に結成し、初の訓練を実施。菊池広域連合北消防署の職員を講師に招き、心肺蘇生法の講習、煙中歩行体験、消火訓練、毛布を使った担架の作り方など体験型の訓練が行われました。参加者した西義生さんは、「いろいろな訓練が体験できて良かった。今後も訓練を続けていきたい」



毛布を使った担架の作り方を学ぶ参加者

9月12日 JC 菊池活性化プロジェクト 高校生がまちの活性化プランを発表

地域と自分の未来を考える菊池市地域活性化プロジェクト vol2 が菊池文化会館でありました。菊池青年会議所主催で、市内の高校生がまちおこし企画を立案・発表・実現するプロジェクトです。今回は7チームがエントリーし、レンタサイクル、農家民泊など特色ある企画をプレゼンしました。参加した市民は「とても頼もしく感じた。もっとたくさんの人に聴いてほしい」と話しました。



最優秀賞に選ばれた菊池農業高校の「2015グリーンライフ研究班チーム」の発表

10月9日 菊池女子高校コラボアイスお披露目会 菊女赤レンガ SweetBox

菊池女子高とアイスクリーム専門店「ついんスター」が共同開発した商品の披露会が同校であり、生徒や市内の保育園児、近隣住民など約70人が参加しました。昨年に続く第2弾で菊池のPRと地元活性化を目的にツインスターが企画。菊池産の材料やデザインなどを生徒たちが提案しました。完成したアイスを見た生徒は「今までにないアイスができました」と笑顔を見せました。



お弁当みたいな新作アイスを試食する生徒たち

10月14日 台湾から修学旅行生が訪問 菊池女子高生が台湾の生徒と交流

台湾の協志高校生徒が修学旅行で菊池女子高校を訪問し、交流会が開催されました。交流会の会場となった体育館では、菊池女子高生がファッションショーや伝統芸能などの歓迎アトラクションを披露。茶道体験、浴衣着付け体験、剣道体験などのブースも出展し、体験活動をととして交流を楽しみました。参加した生徒は「体験が楽しそうよかった。また来てほしい」と笑顔を見せました。



交流を深める生徒たち

10月16日 菊池さくら保育園交通安全啓発活動 手作りのお守りを配りました

菊池さくら保育園の園児たちが、手作りの交通安全のお守りを持って市役所を訪問しました。園児たちが元気な声で「交通安全のお守りです。よろしくお願ひします」と江頭市長に渡すと、市長は「ありがとうございます。皆さんも交通事故に気を付けてください」と応えました。



江頭市長に手作りのお守りを手渡しました

その後園児たちは、国道沿いでドライバーにお守りを配布。明るい笑顔で安全運転を呼びかけました。

10月7日 熊本学園大学 江頭市長が大学講師に

熊本学園大学で江頭市長が講師として登壇しました。生涯学習の一環として一般人と学生と一緒に学ぶ公開講義として行われています。江頭市長は、日本全国で進む少子高齢化問題に対応するために取り組む市の政策を講義。受講した学生は「地域一体となって市を盛り上げていきたいという熱意を感じた。私たちも地域の活動に積極的に目を向けていくべき」と感想を述べました。



学生に市の政策を講義する江頭市長

10月9日 菊池川流域日本遺産推進協議会 菊池川流域の日本遺産を目指します

菊池川流域日本遺産推進協議会が山鹿市で開催され、江頭市長が推進委員として出席しました。この協議会は「日本遺産」認定を目指すために、各自治体の首長と県で構成された協議会です。会長に選任された山鹿市の中嶋憲正市長は「この取り組みは地方創生における広域連携のモデルになる。菊池川流域の魅力国内外に発信する大きなチャンスにしたい」と意気込みました。



参加委員が日本遺産認定に向けて連携することを誓いました

10月15日 商工会青年部泗水支部 泗水東小学校にスカットボーイを寄贈

菊池市商工会青年部泗水支部（坂崎吉紘支部長）が泗水東小学校（田中真治校長）に「スカットボーイ」6個を寄贈しました。この活動は昨年に続き3回目で町内の小学校に毎年寄贈しています。商工会の活動を知ってもらい、泗水秋まつりにも遊びにきてほしいとの思いで贈りました。児童会長の割地鈴音さんは「ありがとうございます。大切に使います」とお礼を述べました。



割地さん④にスカットボーイを手渡す坂崎支部長④

9月27日 「城山の日」清掃活動 菊池公園をみんなで美しく

「城山の日」清掃活動が菊池公園一帯で行われ、子どもから大人まで市内外から約350人が参加しました。城山地区の再生プロジェクトの一環として毎年行われており、参加者は約1時間半かけて、ごみ拾い、落ち葉掃き、桜の胸吹き取りなどを行い、早朝から額に汗を流しました。参加者の皆さんのおかげで菊池公園が美しくなりました。暑い中本当にありがとうございました。



公園道路を掃除する参加者

10月4日 第24回首都圏七城会総会 ふるさと菊池・七城の夕べ

首都圏七城会（志知豊之会長）の第24回総会と「ふるさと菊池・七城の夕べ」が都内で開催されました。本会は、首都圏在住の七城町出身者によって組織された会です。総会・懇親会には、地元議員の坂本道博市議会議員や市職員が出席。ふるさとを元気にする応援を呼びかけ、8月に発生した台風の被害状況や七城のコスモスの開花状況報告、ふるさと納税の協力に対するお礼を述べました。



参加者はふるさと七城町の話を花を咲かせていました

10月6日 全国乳牛共進会 名誉賞を目指します

第14回全日本ホルスタイン共進会への出場報告のため、6人の農家と菊池農高生が市役所を訪れました。(社)日本ホルスタイン登録協会が5年に1度開く全国規模の乳牛の共進会で、牛の品質を審査・評価し順位を競います。菊池管内からは旭志の酪農家と菊池農高から出品。菊池農高2年の益崎裕朗さんは「高レベルの戦いになると思う。名誉賞を目指して頑張りたい」と抱負を述べました。



共進会への出品が決まった皆さん

9月26・27日 四季の里旭志音楽祭「響-HIBIKI-」 楽しい音楽が山に響きわたりました

音楽祭「響-HIBIKI-」が四季の里旭志野外ステージで開催されました。ステージには県内を中心に活躍しているアーティストたちが出演しパフォーマンスを披露。初めての開催でしたが、2日間で約1,200人が来場しにぎわいました。地元の飲食店や市内で活躍しているアーティストによるワークショップもあり「すごく楽しかった」「来年も行ってほしい」との声が多数寄せられました。



大勢の来場者でにぎわう会場

9月28日 亘区お月見コンサート やさしい明かりと音色に酔いしれる

第1回亘区お月見コンサートが亘区公民館で開催され、地元住民約100人が来場しました。区民の交流と親睦を図ろうと初めて開催。本市出身の吉村譲二さんによるオカリナとアルトサックスの演奏のほか、亘区民が歌や三線を披露しました。演奏された曲は童謡、ジャズ、歌謡曲。公民館周辺には、手作りの竹灯籠やろうそくが並べられ、来場者を温かくもてなしていました。



サックスを奏でる吉村さん

10月6日 第70回国民体育大会 上田千尋さんが4位入賞

第70回国民体育大会が和歌山市などで開催され、少年女子シングルスカル（1,000円）に出場した菊池高2年の上田千尋さんが4位に入賞しました。同種目には全国の各ブロック大会を勝ち抜いた20艇が出場。予選と準決勝を順調に勝ち抜き、同校で初となる決勝進出を果たしました。上田さんは「決勝に行けたのもうれしかった。次はメダルを目指したい」と抱負を語りました。



入賞した上田さん